



小さな姫は

××××に夢中です






昔々、とある王国に  
双子のお姫様がおりました。

姉、リリアーナは  
コミュニケーション能力に  
優れ、それは謁見や外交等に  
遺憾なく発揮されました。

妹、ルルアリアは知識欲旺盛で  
卓越した知識を持って  
姉をサポートしました。

二人のお姫様は、  
それはもう仲睦まじく  
王国の将来は安泰だと  
国民は皆、安心していきます。

※この本は  
妹・ルルアリアが  
メインのお話です



妹・ルルアリア

姉・リリアーナ

はじめまして：  
わたしはルルアリア・  
ラウエルディバルド  
十歳です

姫と言っても  
わたしは妹：

お姉ちゃんに  
任せとけー！！

将来の女王はおねえちゃん  
なので、姫としての公務は  
全部お任せしています

ただ、残念なことに  
おねえちゃんはお  
馬鹿さん…

わたしは将来、おねえちゃんを  
サポートすべく本を読み漁って  
色々な知識を得ていきました。

フェルディバルド王国の  
双子姫(妹の方)です。

得た知識は様々です  
哲学や宗教学…  
天文学や経済学…

そして…



性に関する  
知識などです

はあ

うず

はあ

うず



...

うず



初めはただ何となく、  
実践してみようと思っただけでした

セックスは相手がいないと  
できないので、オナニーと  
言うのを試してみました

その結果...

はあ

はあ

はあ

はあ

うず

うず

暇さえあれば  
オナニーしてしまおう

えっちなことばかり考えてしまう  
姫らしからぬ、はしたない女の子に  
なってしまったのです

そんなわたしが  
オナニーだけで  
満足できるはずもなく

セックスがしたくて  
堪らなくなつて  
しまっています…

潮…いっぱい  
吹いちゃった…



しかし…セックスは  
相手探しが大変なのです

わたしは今日…  
王国の外にある  
スラム街を訪れました

ここは王国の法も  
及ばぬ危険地帯…  
麻薬や強盗、売春など  
犯罪が蔓延しています



なぜこんな危険地帯に  
来たか…

みられてる…

ここにはわたしの素性を  
知っている人はいません

そしてここは売春が  
蔓延しています



ここなら  
もしかしたら…

ねえねえ  
その君

ちよっといいかい？



誰かがわたしを買って：  
セックスしてくれるかも  
しれません…

もしかして、援助して  
くれる人を探して  
いるのかな？

※1ゴールド = 100円



ほら…やっぱり…

買うよ  
いくらだ？

えっと…じゃあ  
5ゴールド…です

は!?  
安ッ!

じゃあって  
なんだよ…

三人なのは  
予想外でしたが…

一回で三回分経験  
できるんだから…  
お得…なのかな…?

身売りを承諾した  
わたしは、売春宿へ  
連れていかれました

名前なんての？  
歳いくつ？

ヤマトイ役！

ル…アリアです…  
1●歳です…

へえ、アリアちゃん  
て言うんだ

その歳で体  
売ってんだ

セックスする前に  
色々聞かれましたが…  
わたしが姫だつて事  
バレてないよね…

三人は今まで何度も  
売春したけど、  
わたしが最年少  
と言っていました

カチヤ

カチヤ

生挿入はOKだけど  
中出しはNG？

それでいいのか…？

お、大きい…  
これが、わたしの  
体の中に…  
入るかな…？

まあ、まずは口で  
してくれや

こう…ですか…？

そうそう、  
うまいぞ

行きずりの…  
知らない人の  
おちんちん

ドッ

わたしのお口を犯す  
太くて硬くて巨大な  
おち●ちん…

おお、幼女の口●コ  
ぬるぬるで最高だぜ

すごく臭くて  
苦いけど…

こつちも頼むよ

とっても濃い  
雄の匂い…

まだお口でしか  
してないのに…

どうしよう…わたし…  
おち●ちんが欲しい…

ぎこちないけど  
なかなか悪くないな

しっかり舌を  
絡ませてくるぜ

そんなに精液  
ほしいの？

わたしの子宮が  
おち●ちんを  
求めちゃってます…



ほらっ！  
お待ちかねの  
精液だぜっ！

んんんっ…！

ヒッ  
ムム

ヒッ  
ムム



口開けてみ？

はぁ

はぁ

おー、いっぱい  
飲んだな！

あー

ムム  
口オオ

早く…熱いおち●ちんで  
わたしの奥をかき混ぜて  
ほしいです…っ



んんん

口と顔を精液漬  
けにされて…

ムム  
ムム



んんん

ポロリッ

体の疼きが益々  
止まりません…



あッ

トロオ

りっ  
にっ

恥ずかしがってる  
割にはもう  
準備OKじゃねーか



アリアちゃんのおっぱい  
ちっちゃくて可愛いな!

うー

…あんまり  
見ないでください…

恥ずかしがる  
アリアちゃん  
可愛いすぎんだろ



そんなに入れて  
ほしかったのか

まだ十歳なのに  
とんでもねー幼女だな

シッ  
シッ

シッ  
シッ

ああ、ついにわたし…  
ぶっとい大人おち●ちん  
で犯されちゃうんだ…



ほれ、お待ちかねの  
ち●ポだぜ

く  
し  
っ

…おっきいのが  
わたしの大事な所に  
無理やり入って…



おらっ！幼脛に  
ぶち込んでやったぜ！

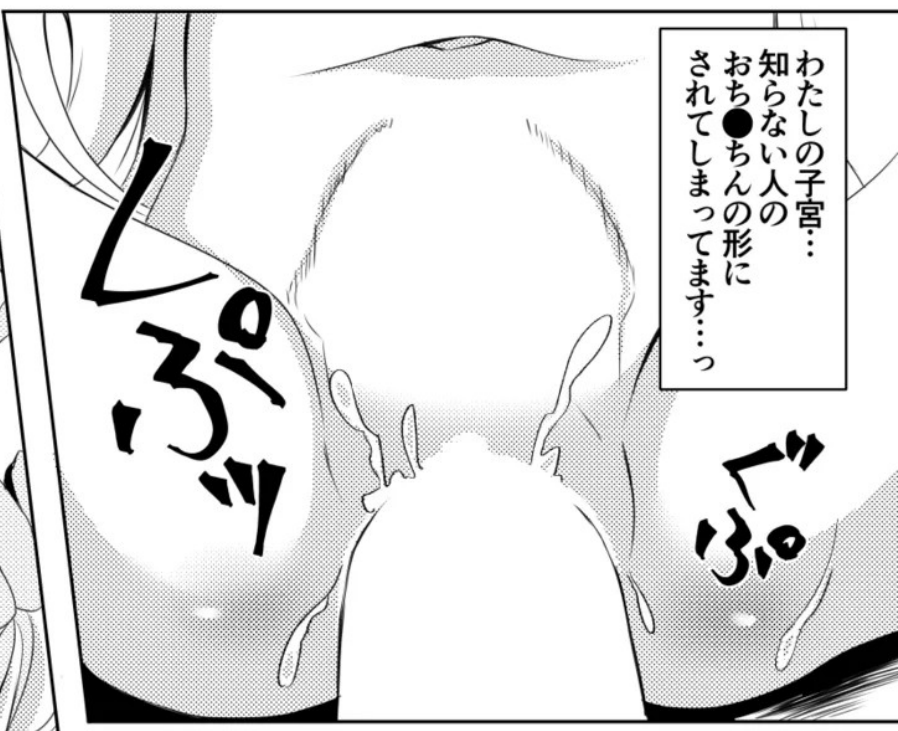
すごいですっ…！！  
あんな大きなのが…  
小さなわたしの体に入  
ってますっ…！！



…っ！幼女マ●ユが  
キョんキョん締め付けて  
きやがるっ！

こいつは  
とんだ名器だ！

セックス…気持ち  
よすぎです…っ！



わたしの子宮…  
知らない人の  
おち●ちんの形に  
されてしまってます…っ



少し苦しいけど…  
頭が痺れて…



ほら、俺のも  
ちっちゃいお手々で  
擦ってよ

ズッ  
ズッ



こんなマ●コ  
経験しちゃったら  
もう大人の女とは  
やれねーじゃんか！



ロマ●コにも  
挿入しつと！

んんん  
んんん

すごい…っ…  
子宮をぐちゃぐちゃに  
犯されて、わたしの体  
悦んじゃってます…っ

じゅわん  
ズッ  
ズッ



おいおい…  
見ろよこの顔！

完全に発情しきった  
メス顔じゃねーか！

とんでもねー  
十●歳だな

もつとチ●ポ  
味わせてやろうぜ

ああ…おち●ちん  
美味しすぎですっ…  
もつとほして…

んんん  
んんん

ズッ  
ズッ  
ズッ



大丈夫大丈夫！  
何事も経験だよ！

ズググッ



おら、後ろ向けっ！

やっ…そこお尻…っ  
無理っ…入りませんっ…！



あ！  
ほら、入ったじゃん！

あ！

お尻にも…っ  
おち●ちんがっ…



このケツマ●コ  
やべえぜ！

発育前ぶにぶに  
ケツマ●コ…  
最高すぎるッ！

二本が中で…  
ぶっかりあって…  
これ…しゅぽん…っ



俺らのチ●ポ、  
大人の女でもキツいののに  
末恐ろしいぜ

やべえわ俺…  
ロリに目覚めそう

気持ちよすぎるよっ！  
このまま中に出してえ  
いいよねアリアちゃん

な…中出しはあ…  
ダメです…っ！



だめですっ…！  
中に出したら…赤ちゃん  
できちゃいます…っ！

いいじゃん  
俺たちの子、  
孕んでくれよ

や…やあ…っ！

気持ちいいけど…  
中出しされるのは…っ  
やめさせないと…っ…！



んな事言ってもなー  
俺もう出そうなんだよ  
どうせナマでやって  
んだしいいじゃん

わたしの中でっ…  
おち●ちんが  
二本とも膨らんで…



金も倍出すからさあ  
中出しさせてくれよお

駄目です…っ！

あ、お金は犯されるための  
口実だからいらぬのか

ね、ルルアリア姫

それなのに売春を  
持ちかけるとは…  
どんだけ犯され  
たかったんだよ

そんな…  
全部バレてる…

王族なんだから  
金には困って  
ないよな？

あれ？もしかして  
バレてないと思った？  
最初はお姫様なのに  
売春するんだって  
びっくりしたけどな



なら聡明なルル姫様は  
何て言えはいいか…  
わかるよな？

ううう…

そ…  
それだけは…

俺達は別に王宮へ  
チクってもいいんだが…

いやー、ルル姫様が  
淫乱姫だったなんて…  
王様が知ったら  
なんていうだろうな？

ずちゅっ  
ずちゅっ



わ...わたしの中に濃い精液いっぱい出して...

孕ませてくださるっ...!

よく言えました! じゃ、遠慮なくッ!

ああッ

あ...

あああああッ♡

びしょ

びしょ



熱くてどろどろしたのが私の中に纏わりついて... 最高に気持ちいい... これが中出し...

次は俺がマ●コな!

ずるいぞ! 俺の番だっ!

よかった... 彼らはまだわたしを犯してくれるようです

一回射精されたのなら... 後はもう何回出して貰ってもいいですよね...

グッ

その後は男の人たちが満足するまで…ただひたすらに犯され続けました

気持ちいい姫様？

はいっ…とても…気持ちいいです…

また中に出しちゃったけど、いいよね？

はい…っ

ドロドロ

安心した姫様！

姫様が満足するまで何度でも出してやるからな！

姫様のかわいいおっぱいにぶっかけ！

ドドロ

ドドロ

何度も何度も射精され、体中をドロドロにされてしまいました…



俺も出るわ  
ロリ姫ボディ  
最高すぎるぜ

あッ

あッ

ブッブ

ゴッポ



一々そんなの  
覚えてねーよ

んッ

んッ

あ、俺また出るわ

ブッブ

ビュルル



何度も輪姦され

おい、これで  
何発目だ？

あッ

あッ

あッ

ゴッポ

ゴッポ



射精される度に  
理性が溶けて  
いきました…

あーまた出る

こんな何度も  
射精されてたら  
確実に孕むじゃね？

俺の子、王子様か？

んなわけねーだろ  
俺の子だよきつと

はッ

はッ

はッ

はッ

あッ

あッ

はッ

はッ

ついにはもう  
頭が真っ白に  
なってしまう！

おいおい、姫様がしちゃ  
いけねー顔してんぞ

輪姦されすぎて  
壊れちまったか？

でも、姫様マ●コ  
射精するたびに  
締めよくなってるね？

体もずっと  
イキっぱなしに  
なっていました…

こんな気持ちいい  
ロリマ●コ、  
やめらんねえ！

ほら、また出すぞっ！

男の人たちが満足する頃には：  
もう気持ちよくなる事しか  
考えられない体にな  
ってしまいました…

いやあ気持ちよかった  
最高だったぜ姫様

輪姦してほしくなったら  
いつでも来な！  
めちゃくちゃに犯してやるから

は…い…

思った通り…  
セックスは最高でした

楽しみだぜ

次会うときはは  
ロリ姫ポテ腹が  
見えるかもしんねーな！

ムロムロ  
ムロムロ





みなさんこんにちは



あたしの名前は  
フルアリア・ラ  
フェルディアバルド。  
フェルディアバルド王国の  
第二王女です。

まだ未熟ではありますが、  
第一王女である姉の  
サポートとして日夜  
国民の皆さんの為に  
尽力しています。

そんなあたしにも…  
国民にはとても  
言えない秘密が  
あります

いっしょに  
とき

姫であるあたしが  
欲望に負けて  
ずるずると  
続けている事

とてもいけないことだと  
分かっているも…  
どうしても辞められない  
あたしの秘密…

それは…

こんにちは…

カクカク



いらつしゃい  
ルルアリアア姫



見ず知らずの  
おじさんたちが  
差し出すこの首輪

ドキドキ  
♡

この首輪をつけると...

あたしは...

カチヤ...

この国の姫ではなく

おじさんたちにご奉仕するだけの…  
性奴隷となります

やっと回ってきた順番だ  
今日は思う存分マンコ  
使わせてもらおうぜ

くおほい

いやあ、姫様とやれるの  
ずっと楽しみに  
してたんだよ

なにせプリンセスだし  
順番待ちが長すぎてな

はい…どうぞ。  
あたしのおまんこ…  
すきなように…  
お使いください…



ゴーン

姫様！おれたちのも  
ぜひ味わってください！



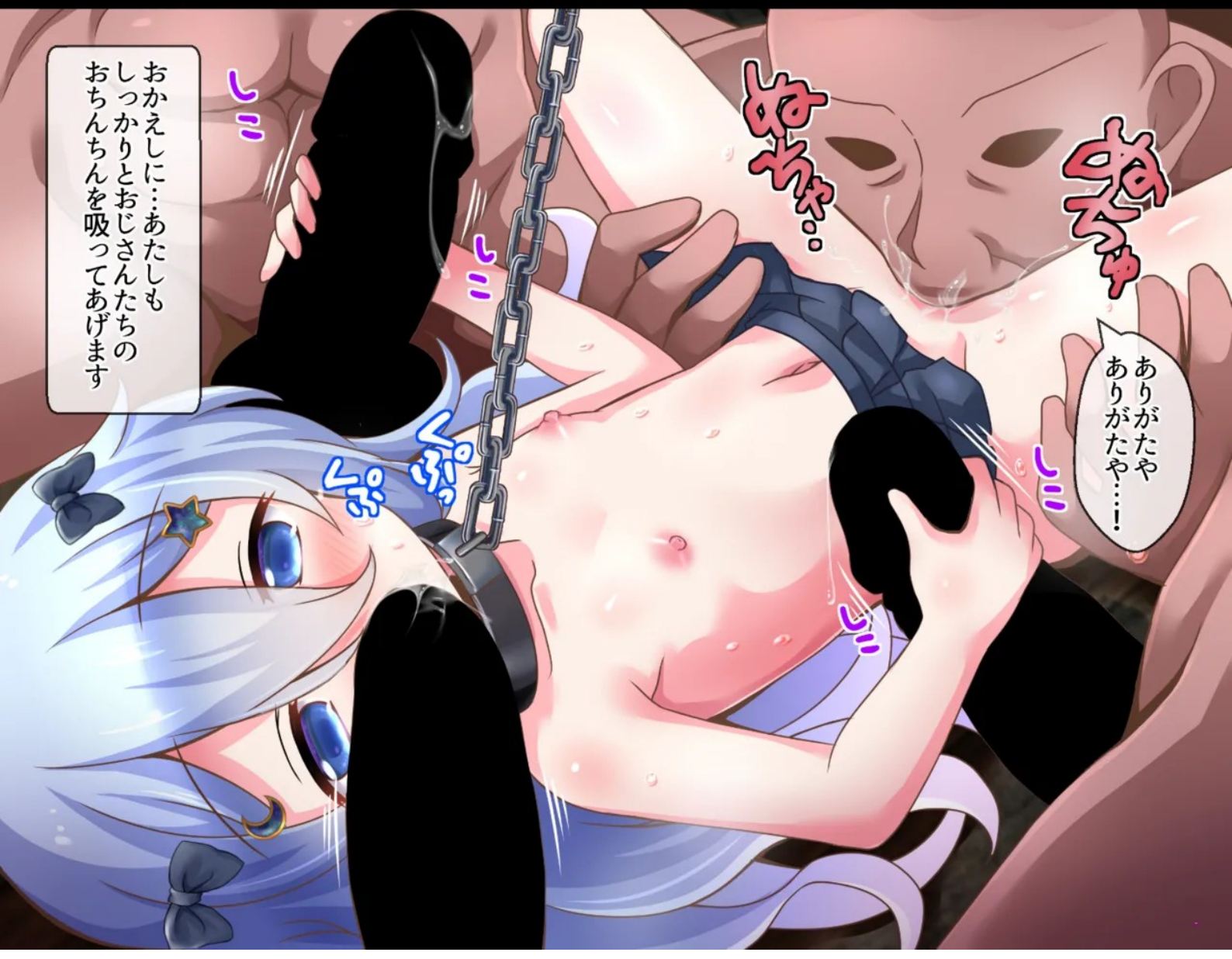
今回のおじさんたちは  
まず、あたしのおまんこを  
徹底的に吸って  
くれました…

あ…ありがとうございます…  
ごぞいます…

長い間待った甲斐が  
ありましたあ！

ああ、姫様のマン汁  
高貴な味がしますよお！

ぐちゃん  
ぐちゃん



おかえしに…あたしも  
しっかりとおじさんたちの  
おちんちんを吸ってあげます

ぬちゃ  
ぬちゃ

ありがたや  
ありがたや…！

しし

くちん  
くちん

しし

ぬちゃ  
ぬちゃ

しし

姫様！  
射精ますっ！

ビュル  
ユルル

俺たちの精子、  
受け取ってくださいっ！

んん

おじさんたちは…  
あたしのお口で  
気持ちよくなって  
くれたようで…

しゅんっ♡

どっど

たくさん…あたしに  
精液をごちそうして  
くれました…

精液はねばねばして…  
苦くて臭いの…

どうしてこんなに  
欲しくなって  
しまうのでしょうか…

びゅる  
ゅる



姫様のお口のご奉仕  
めちやくちや気持ち  
よかったつす!

お返しに俺たちの  
チンポ、思う存分  
お召し上がりください!

いよいよ、おじさんたちの  
おちんちん…挿入です

ム  
ム



おおっ!  
姫様のまんこ  
ぶにぶにしてて  
最高だあ!

おじさんたちの  
おちんちんは  
とても大きく…

あたしの小さな  
おまんこを…  
無理やり広げて  
侵入してきます

ム  
ム

ム  
ム

入りましたよ  
姫さまっ！

あぁあ  
あぁあ

姫様まんこ、キツキツっ！  
なんとという名器だっ！  
さすがプリンセス！

びん、

無理やりねじ込まれた  
おちんちんは…あたしの  
一番奥を容赦なく  
突きあげます…

力づくで侵入し…あたしの  
中を支配していくこの感じ…  
本当に気持ちよくて…  
癖になっちゃいます…

ずんずん

びん

姫さまっ！  
後がつかえてるので  
どんどんいきますよ！

ちよつと激しく  
犯しちゃいますけど  
いいですよね！？

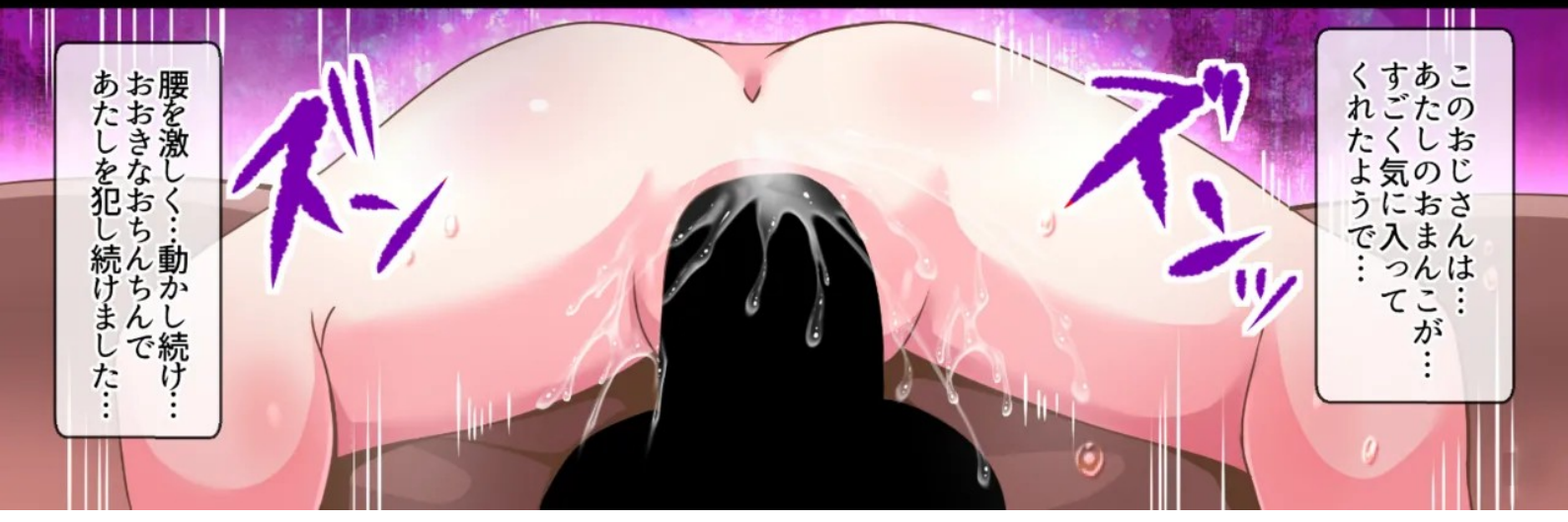


どうですか姫様ツ！  
俺のチンポの味は!?

ゴッ

ゴッ

はいっ…凄くおつききて…  
あたしの中をぜんぶ  
埋め尽くしてくれてっ…  
とっても気持ちいいです…っ



このおじさんは…  
あたしのおまんこが…  
すぐく気に入って  
くれたようで…

腰を激しく…動かし続け…  
おおきなおちんちんで  
あたしを犯し続けました…



お尻でもぜひチンポ  
味わってください！  
姫さまっ！

一人目のおじさんが  
絶倫で…なかなか  
終わらず…  
二人目のおじさんが  
待ちきれなくなっ  
てしまったようで…



ああっ！これが  
プリンセスアナル！

搾られるッ！

二穴を同時に突かれ  
少し意識が飛びそうに  
なっていました…

俺たちばかり  
気持ちよくなって  
すみません！

姫様もこれで  
キメちゃいましょうね！

そう言ってお  
おじさんたちは  
注射器をだしました

お薬…？

これはきつと…いけないお薬…  
分かっているのに…  
キメちゃうお薬…  
興味津々だったあたしは…

その即効性の薬を受け入れ…

ふふ、プリンセスとは  
思えない顔に  
なっちゃいましたね

そこからは…あまりの快感に…  
おちんちんのことしか…  
考えられなくなりました

ふんふん



ひたすらおちんちんを  
求め続けるだけに  
なってしまったあたしを

おじさんたちは…  
容赦なく…あたしの  
全ての穴を使って  
犯し続けました



おじさんたちは  
精液をいっぱい  
飲ませてくれましたが…

飲めば飲むほど、もっと  
精液が欲しくなってしまうって…  
あたしは無我夢中で  
おちんちんを啜え続けました

おちんちんが…  
精液が欲しい…  
あたしはそれだけしか  
考えられず…

止まらないっ！  
姫穴持ち良すぎて  
止まらないっ！  
こんなに精液出るとは  
思わなかったっ！

このままだと全部  
絞り切られるっ！

無我夢中でおじさんたちの  
おちんちんにご奉仕しました







## あとがき

別サークルのゲームのサブヒロインとして  
初登場したルルちゃん。  
同人誌がいつの間にやら4冊目…!?  
まさかこんなに続くとは思っていませんでした。

よろしければぜひ「アルケミープリンセス」も  
プレイしてみてくださいm(\_ \_)m

## 奥付

●誌名 小さな姫は×××に夢中です

●発行 2023年12月31日  
コミックマーケット103

●発行元 ああああ一族組合

●著者 藍浦あいう

●Mail [aaaa.aiura@gmail.com](mailto:aaaa.aiura@gmail.com)

●BOOTH <https://aiura.booth.pm/>

●X(旧Twitter) @aiu\_iroha





ああああ  
一族組合  
Written by Aiu Aiura

2023 WINTER